

江北町社協ニュース



権利擁護に関する研修会を開催しました

12/17

～ 元気なうちに準備する「任意後見契約」について～



江北町社会福祉協議会では土元区の「たんぽぽサロン」（代表者：吉丸哲夫区長）と協働して、木村幹人氏（佐賀公証役場 公証人）を講師に招いて「任意後見契約」の話を中心とした「後見人制度」についての出前講座を開催しました。老人福祉センターの2階大広間での開催で53名の参加者（たんぽぽサロン15人、民生児童委員16名、傾聴ボランティア11名、一般6名、社協職員5名）がありました。超高齢化社会時代の到来で生じる「身近な問題事例」についてシンプルでわかりやすい内容に参加者

の方々も「自分のこと」として真剣な表情で拝聴し、講演終了後の質問時間でも多くの質問がありました。

今回の出前講座をきっかけに「権利擁護」の推進を図る社会福祉協議会では定期的な権利擁護に関する普及啓発活動を実施して参ります。



イルミネーション点灯式の開催

12/11

「新型コロナウイルス携わるすべての皆さまへの

“感謝”と感染収束への“祈り”をこめて」

江北町クリスマスライトファンタジー実行委員会（済木克朗実行委員長）及び江北町社会福祉協議会は、「みんなの公園」主催による「イルミネーション企画」への協賛をしました。毎年恒例の「クリスマスライトファンタジー&バルーン係留飛行」がコロナ感染症の影響により開催中止となり今回の協働が実現したもので、シンボルツリーであるクロガネモチ（高さ13M）にイルミネーションライトを飾り付けし点灯式を開催しました。このイルミネーションは来年2月中旬まで点灯されます。



食の自立支援・バランスのとれた食事を！ ～「男性のための料理教室」を開催しました～

日常生活で欠かすことができないのが「食事」。今年で16回目となる「男性の為の料理教室」を2回シリーズ（10月31日・11月6日の2日）で開催しました。料理経験の少ない男性が料理する楽しさを感じながら、基礎的な調理技術や生活習慣病予防・改善のための食生活の知識を習得し、健康維持・増進、ひいては介護予防のために、自ら健康的な食事を作ることを目的として行っています。ふれあい交流センター「ネイブル」の調理室での食事づくりに町内から12名の参加がありました。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策として（簡単・時短レシピ）の調理でしたが、和気あいあいとして雰囲気調理を楽しまれていました。

食事メニュー

主食●カレーピラフ
主菜●オムレツ
汁物●豆入り野菜スープ
デザート●オレンジパンケーキ



赤い羽根共同募金業 ～地域から孤立をなくす活動事業～（世代間交流会）～

江北町社会福祉協議会では、小地域ふれあいサロンを助成している14地区に対して、赤い羽根共同募金の配分事業として、「世代間交流会」の募集を行いました。

この事業は、子どもから高齢者まで地域の方々の交流を目的とした事業で、今年度7地区（下惣区・東区・下分・観音下・西分・八町北・土元）より申請がありました。11月末から12月上旬に開催された2地区を紹介します。

＊新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら実施しています。

下分区

【日時】 令和2年11月27日 金曜日
【場所】 下分区公民館
【内容】 伝統芸能「浮立」披露会
・子どもたちによる「浮立」の披露
・地域の方によるカレーのふるまい



下惣区

【日時】 令和2年12月13日 日曜日
【場所】 下惣区公民館
【内容】 下惣区クリスマス会
・音楽セラピー
・子どもたちによる手作りクリスマスケーキ
・地域の方によるカレーのふるまい